

# てもとせーこ

柱頭金物 手元施工タイプ

## 施工マニュアル

平成25年 6月

### 目次

---

1. 施工上の注意点 ..... P 1
2. 施工にあたって用意するもの ..... P 1
3. 梱包内容 ..... P 1
4. てもとせーこ施工手順 ..... P 2 ~ 4
5. 全体図 ..... P 5

# はじめに

この度は、「てもとせーこ(柱頭金物 手元施工タイプ)」をご購入頂き、誠にありがとうございます。  
この施工マニュアルは本製品を正しく施工頂くためのガイドブックですので、よくお読みになり、内容を理解された上で施工してください。また、この施工マニュアルは、常にお手元に置かれて施工される事をお勧め致します。

## 1. 施工上の注意点

- 1) 「てもとせーこ」の施工にあたっては、本施工マニュアルを必ずご覧ください。
- 2) 同梱されている金物の耐力は中間柱19.1kN、出隅柱17.3kN となっています。金物の耐力を超える引抜が生じる場合は別途金物変更等の検討が必要となります。
- 3) 施工前に、柱・横架材(梁・土台)等、主要構造部の劣化状況などを確認をし、耐震診断を実施した上で必要な補強設計を行ってください。なお、劣化した構造部材に本製品を設置しても所定の耐震補強効果は得られません。
- 4) 補助金(助成金)を申請する場合などは、建築主事や担当窓口の判断となりますので、採用の際には事前に各自治体に確認してください。

## 2. 施工にあたって用意するもの

本製品の施工にあたり、以下の工具をご用意下さい。

使用工具	
コンベックス	四角ビット( 3番)
差し金	ロングビットホルダー( 300mm以上を推奨)
インパクトドライバー	ラチェットレンチ( 24mm)

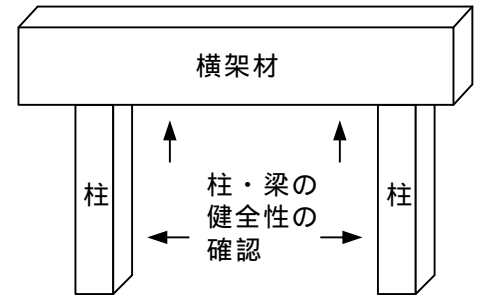
## 3. 梱包内容

### 柱 2 箇所セット

ホールダウン金物	2個	くるピタ(ホールダウン位置調整金物)	2本
ホールダウン金物用ビス L = 65	22本	特殊座金付きナット( 58)	2個
両ねじボルト( M16) L=400	2本	特殊座金付きナット用ビス L = 105	14本
六角ナット( M16用)	2個	取り扱い説明書	1冊
平ワッシャー( M16用)	2枚		

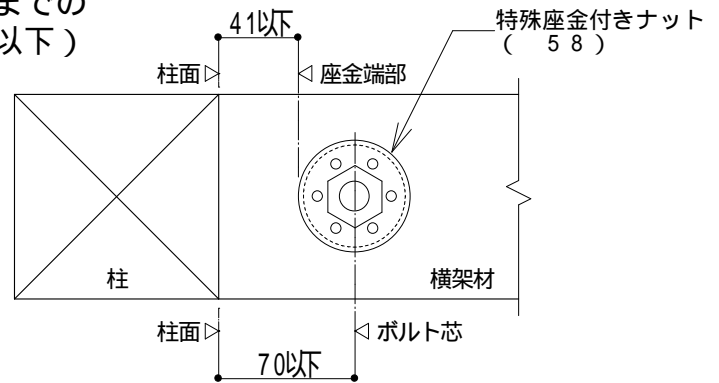
## STEP-1

既存の壁を解体後に、金物を設置する柱や横架材が見える状態して、金物設置個所の腐朽や蟻害等の劣化が生じていないか、躯体の健全性を確認してください。劣化事象が確認された場合は、劣化の状況に応じて補修や交換を行って下さい。



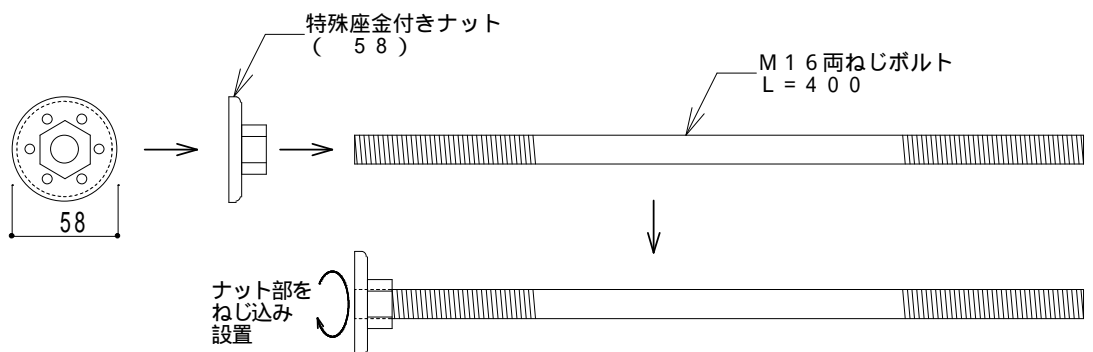
## STEP-2

金物の設置位置を決める為、横架材に留め付ける特殊座金付きナット ( 58 ) を柱面からボルトの芯までの寸法が70mm以下 ( 柱面から座金端部までが41mm以下 ) となるように位置出しを行ってください。



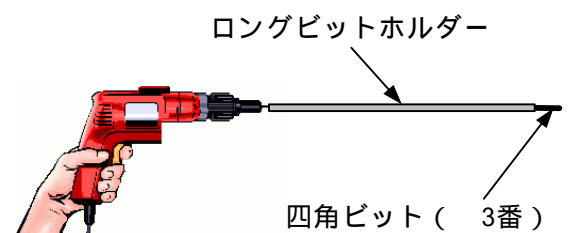
## STEP-3

両ねじボルト ( M16 ) の先端に特殊座金付きナットをねじ込んで取り付けます。



## STEP-4

インパクトドライバーに、先端に四角ビット ( 3番 ) をセットします。天井懐の大きさに応じて適宜ロングビットホルダー等を装着して下さい。



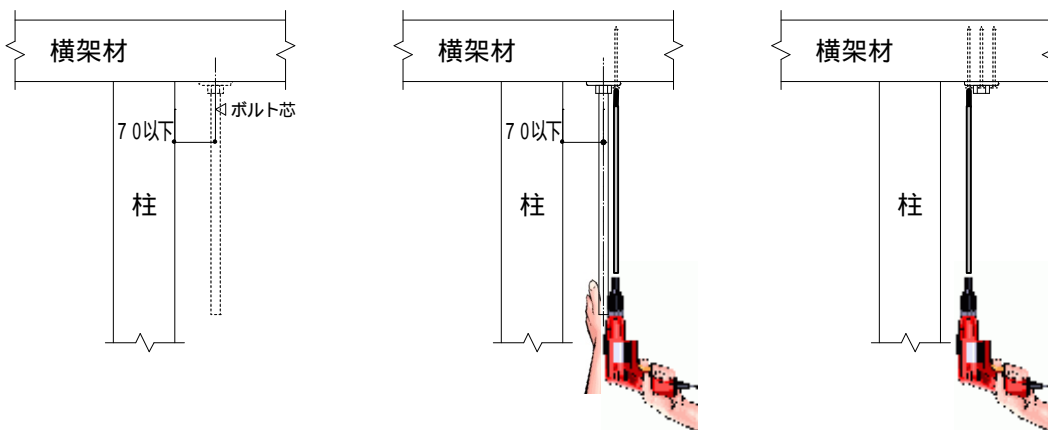
## STEP-5

STEP-3で組み合わせた両ねじボルトと特殊座金付きナットをSTEP-1で位置出しした横架材に当てがい、STEP-4で用意したドライバーの先端に特殊座金付きナット用ビス(L=105)をセットして、ボルトを持ちながら1本目のビスを打ち込んでください。打ち込んで仮固定できましたら、両ねじボルトを取り外します。



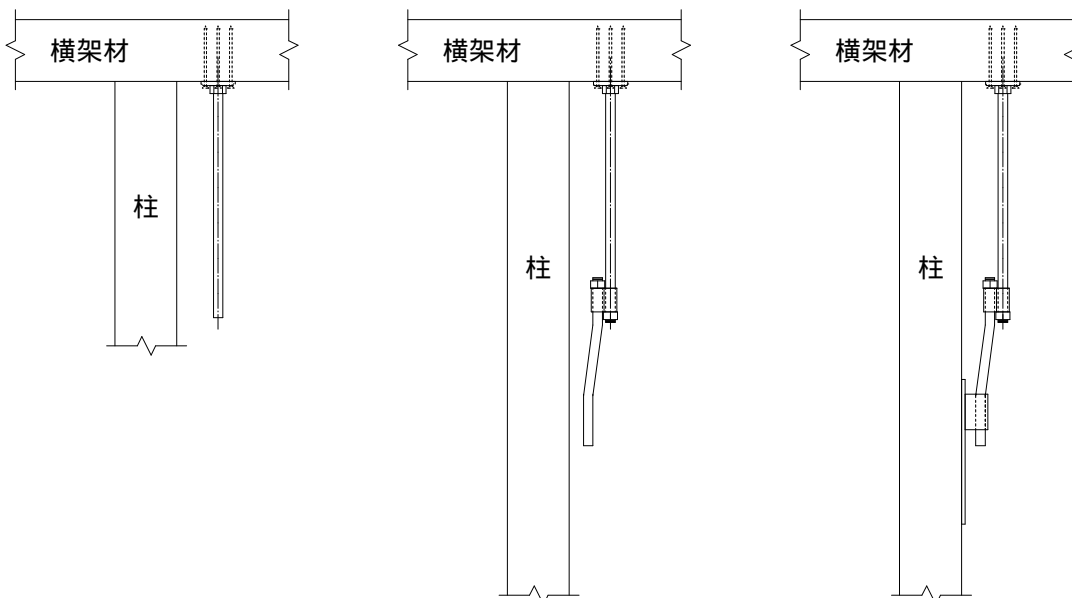
## STEP-6

残りのビスを留め付けます。(計6本)



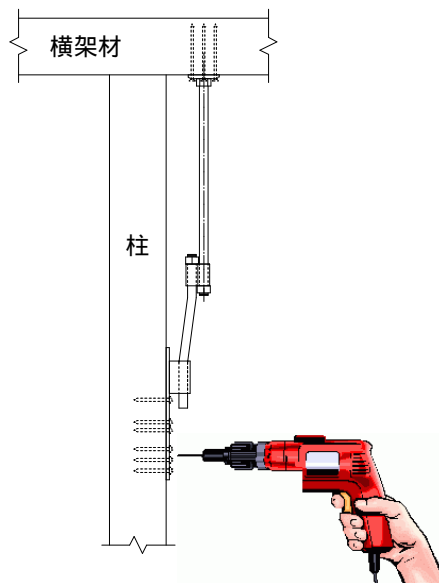
## STEP-7

ボルトを再度取り付けてから、くるピタとホールダウン金物を組み合わせます。ナットの余長は3山以上となるようにナットの締め具合を調整してください。



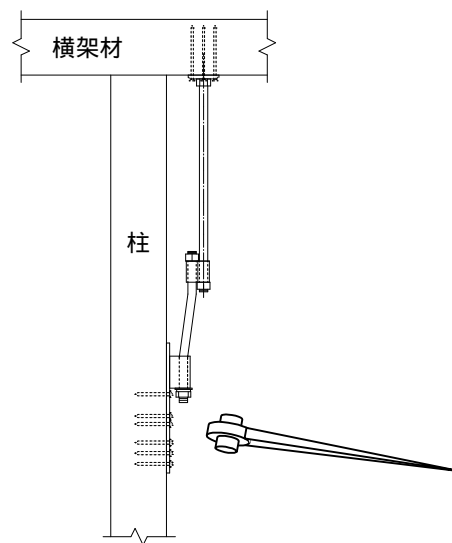
### STEP-8

ホールダウン金物の位置が決まりましたら、柱に対してホールダウン金物用ビス ( L = 65 ) で留め付けます。

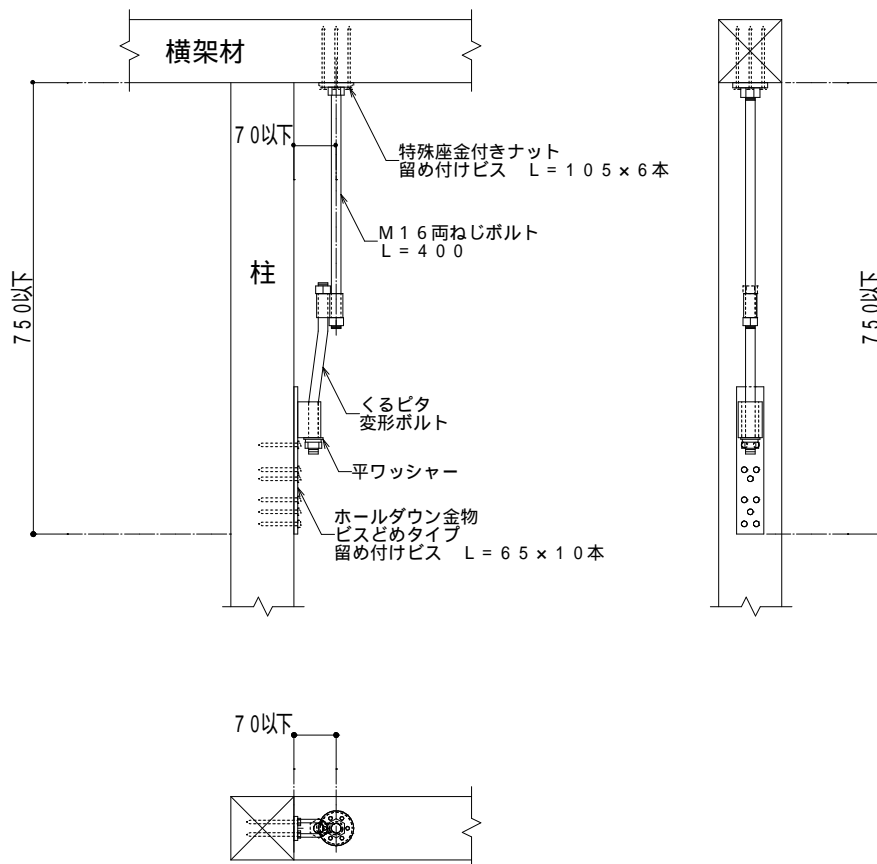


### STEP-9

ホールダウン金物を平ワッシャー・ナットをセットしてくるピタと一体化させ、最後はラチェットレンチでナットを締めて張力を持たせます。



## てもとせーこ 全体図



### 適用範囲

- ・柱頭、柱脚の引き抜き防止を目的とした金物です。
- ・「てもとせーこ」の耐力は出隅柱で17.3kN、中間柱で19.1N用です。
- ・在来軸組構法または伝統的構法を対象としています。その他、枠組壁工法(2×4)やプレハブ工法等には適用できません。
- ・劣化した構造部材に本製品を設置しても所定の耐震補強効果は得られません。柱や横架材(梁等)に劣化部位がある場合は必要に応じて補修・部材交換を行った上で金物を設置してください。

### ▽ 本製品に関するご注意

本製品を安全に使用していただくために設計・施工・使用にあたっては下記の点を守ってください。

#### 製品の検討・設計にあたって

本説明書の掲載の製品には、使用用途・場所などを限定するものがあります。  
製品の検討時には、必ず用途をご確認の上、誤採用がないように注意してください。

#### 施工にあたって

取扱説明書の内容をよく読み、正しく施工してください。専門施工を必要とする製品は必ず専門の工事店にご依頼ください。

#### 使用にあたって

「取扱説明書」をご使用前によく読み、使用上の注意をお守りください。  
本説明書内の写真は実際の材質感とは多少異なる場合があります。  
本説明書に収録したものは全て当社に著作権の存するものとしますので、無断の複製はかたくお断りします  
本説明書は2013年6月現在のものです。  
仕様他、本説明書の記載内容は、予告なく改定する場合があります。  
最新版は下記ホームページアドレスにてご確認ください。  
<http://www.aimkk.com/>

### 取扱店

本製品に関するお問い合わせは  
エイム株式会社 商品管理課  
〒332-0002  
埼玉県川口市弥平2-20-3 エイムWingビル  
TEL:048-224-8160 FAX:048-224-8180